

■ 「タカテツのひとり語り」

— 「リーダーシップ」と「コーチング」 —

WBCが日本の優勝で終わりました。ダルビッシュ・大谷両選手は勿論のこと、ヌートバー選手、チェコ野球の素晴らしいアマチュアリズム、久々に一喜一憂しました。野球界OBの落合氏・高木氏等も一緒に喜び、高木氏は準決勝・決勝と涙びしょびしょでYouTube解説をしていたのが印象的でした(笑)。

今回は各国とも一流選手が出場した中での優勝でしたので、日本野球との差を感じてきたOB世代から見ると感無量だったのでしょうか。

大谷選手のスピーチの通り、大リーグは“**あこがれ**”であった訳で、“**あこがれては乗り越えることができません。この一戦だけはあこがれを捨てましょう。勝ちに来たのです**”が、これを代弁しています(ビレました)。

さて、終わってから栗山監督の著書「**栗山ノート**」が爆売れとのこと。なぜ栗山ノートが売れているのかは彼のリーダーシップに関心を持ったからでは…今までにないタイプの監督でした。有名プレーヤーであり、かつ自らが引張るリーダーシップが多かったといえます。

リーダーシップ理論には幾多の変遷があり、今日**サーバントリーダーシップ**や**オセンティックリーダーシップ**が台頭してきており、実はこのタイプが栗山監督だったのです。これらのリーダーシップは“**リーダーは周りから支えられ力を借りることができる人**”ということです。つまり、信用され信頼されていることが絶対要件であり、そのためには“**部下を信用できる力、相手を心から思う力**”が求められます。彼はそれを**天真**と言っており、自身では“**天から授かった心のなかの「真」をどうやって開発、表現していくか**”だと言っています。自分の心に宿る**天真**を自覚すれば誰にでも優しく丁寧に接することができることも…信じること、これは期待し続けることでもあり、**アドラー心理学**では人を伸ばすにはこれが必須であり、“**勇気づける**”ことであると…栗山監督はこの理にも叶っており、知っていたのかもしれない。

一方、白井ヘッドを筆頭にコーチ陣の話にも感じ入りました。代表に選ばれている選手達にそもそも教えられないと言っていました。然りです、技量卓越した一流選手なのですから。

これも**ティーチング**と**コーチング**は勘違いされていることが多く、技術や知識を教えるのが**ティーチング**(教育)であり、100%になっていない人を100%にすることです。ところが一流選手は既に100%に達しており、これを互いの信頼のもとに**100%+α**の力を引き出す下支えをするのが**コーチング**なのです。

つまり、今回の侍ジャパンのコーチングスタッフはこれを実践しており、“**本当(オセンティック)のリーダーシップとコーチング**”が目の前で見れたWBCでした。ありがとう、おめでとう、お疲れ様でした。

オラ監督はイヤダ〜♪



■ ROKEN50年のあゆみ 2

— 「協同組合 山形県労務研究センター」の創設 —

事務所大改装、今に至る



前回はROKENの草創期の話しをし、業務拡大により組織的な限界も生じてきたと言いました。事務所も手狭となり、大改装にカネをかけました(笑)。

第1に個人商店が一箇所に集まっても個人商店に過ぎません。殊に私の業務量が増大していき、職員の増加を考えなければならなくなりました。その費用は個々人が業務量に応じて分担するという形で、仕事のやり辛さも多々ありました。

第2に設備投資等も組織単位でなく個人単位なので、その意思決定も難しいものでした。電子化を図るにも各人の考え・必要性・運用能力がバラバラなのですから当然です。

この頃から法人化を考えましたが、この時山形市の植松社労士から私に合同で事務所をやるという申出があり、当時南陽市の平山社労士もROKENで研修をしていましたので、法人化を目指し、今後の展開等を説明し合意に至りました。当初**株式会社**を考えていたのですが、たまたま**協同組合**の資料を目にし、同業者4人以上で設立できることを知り、米沢商工会議所の土岐経営指導員(当時)の相談・指導のもと**協同組合**を設立するに至ります。この時、山形市・南陽市・米沢市と広域ですので、**全県区域**とした申請をし、認可を受け、名称を**協同組合 山形県労務研究センター**とし、業務の一体化・一元化を図りました。

これがまた一騒動、同業者から県の“**外郭団体**”まがいの名称だとか“**第2社会保険労務士会**”を作るつもりか等と何かと騒々しかったです(笑)。その後、植松・平山両社労士とも若くして亡くなりました(合掌)。

そして、初代理事長に鈴木徳松、第2代後藤源と歴史を重ねて参りました。そして、**4大卒**の職員を採用することとし、来たるべき電子化時代に備えようと思いましたが、悪戦苦闘の連続でした(涙)。続く

■ ROKEN提供システムズ

— 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

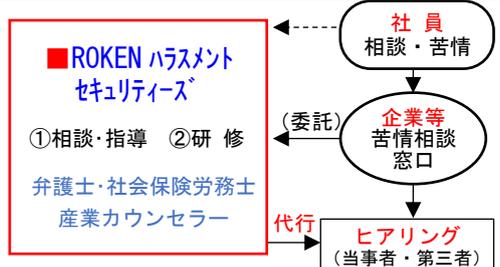
- ・ 電子申請システム(義務化近し)
- ・ 給与計算(明細書電子配信)
- ・ 出退勤指紋(カード)認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236  
E-Mail: [center@roken.jp](mailto:center@roken.jp)

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069  
E-Mail: [academy@roken.jp](mailto:academy@roken.jp)

roken 検索